



天文学の扉を開こう

12月の夜空

ふたご座流星群と部分日食

ふたご座流星群は、毎年コンスタントにたくさんの流れ星が見られ、三大流星群の1つにも挙げられる、活動の活発な流星群です。今年は12月15日午前4時頃に極大、つまり最も多く流星が流れる、と予想されています。ですから、観察に適しているのは、14日の夜から15日明け方にかけてということになります。14日は土曜日ですので、夜ふかしするにはちょうど良いのですが、満月過ぎの明るい月が空を照らして暗い流星が見づらくなってしまいます。流れ星は、ふたご座を中心に空全体を四方八方に流れるので、明るい月を背にして空の暗い方向を見るようにしてください。

ぐんま天文台でも、14日午後6時から翌15日午前2時(最終入場午前1時)まで、ふたご座流星群観察会を実施します。寒さも厳しい時期ですので、防寒をしっかりと、寝転んで観察できるように、ブルーシートなどの敷物持参でご参加ください。ただし、天候不良の場合は中止とさせていただきます。

また、暮れも押し詰まった26日の午後、全国的に部分日食が見られます。群馬県では、午後2時27分に欠け始め、午後3時33分に最も大きく欠けます。このとき、面積にして4分の1ほどが欠けています。そして、日食自体は午後4時32分まで続くのですが、この日の日の入りが午後4時35分とあまり時間差がないため、欠けたまま山の端に沈んでいく太陽を観察できるところもありそうです。ただ、太陽が地平線に近づいて光が弱くなったように感じても、肉眼で直接太陽を見ると目を痛めてしまう危険性があります。日食グラスなどを正しく使って、安全な方法で日食を観察してください。なお、

ぐんま天文台でも部分日食観察会を開催予定です(写真は本年1月6日の部分日食観察会の様子)。詳しくは、ぐんま天文台のホームページをご確認ください。

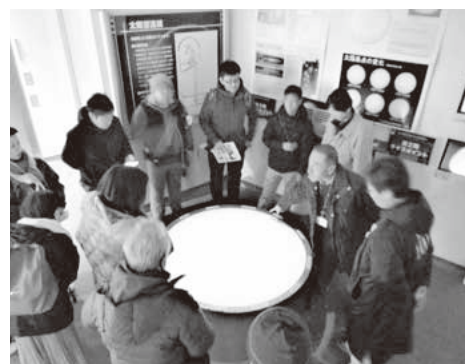


12月のぐんま天文台のイベント

- ・14日(土) ふたご座流星群観察会
- ・26日(木) 部分日食観察会

○星図の説明

12月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも同じ星空になります(「月」を除く)。



リズムミュージアム

「七五三の千歳飴を入れる袋を作りました！」



ひらかた そうた くん
「大きくなったら、「ファンキーモンキーベイビーズ」になりたいです！」



よしだ あかり ちゃん
「大きくなったら、「イルカショーのおねえさん」になりたいです！」



まつだ こうが くん
「大きくなったら、「大工さん」になりたいです！」

カメラ フォト
ショット



「たかやまむら illumination 2019」



2019.11.9～2020.3.1 17:00～21:00 in道の駅「中山盆地」

こちら「10代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは。寒い時期になってきましたね。私の部屋の温度は、朝になると6度になっていました。東京で過ごしていた時は真冬でもここまで寒くなることはありませんでした。高山村は真冬にかけて今よりもさらに寒くなると考えるとても恐ろしいですね。

そんな寒い中、夏野菜とはまた違ったおいしい野菜も食べられるようになりました。そこで最近私が始めたことは、いただいた野菜で料理を作り、それをお世話になっている方へ提供することです。これまでは私がお世話になった方から食材や料理をいただいていたばかりでした。

そのお礼として、料理を作って恩返ししようと思い、始めてみました。「おいしかった」「料理を作ってくれた協力隊は初めてだよ」など温かいお言葉をいただけることが嬉しくて、



これからも続けたいと思います。

私の活動任期は残り4ヶ月。着任した頃の頃、高山村は空気も水も綺麗で自然が豊かな場所だと思いました。たしかにそうですが、高山村の本当の魅力は人と人との繋がりだと思います。外に出ると必ず誰かに会うことができます。また、村内ではイベント行事が多く、人と会う機会がたくさんあります。

残りの任期をしっかりとやり遂げて、笑顔で任期を終えられるようにしたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

緑のふるさと協力隊ブログ <http://taka-midori10.jugem.jp/>